

シャインマスカットの省力栽培技術

「シャインマスカット」は、高糖度で食味が良く人気が高いことから、全国的に栽培面積が増加しています。しかし、変形した花穂の発生が多い特性があり、良好な果房を確保するためには、花穂と果房管理作業に多くの労力が掛かります。また、樹勢が強く余分な枝葉の発生が旺盛なため、それらを取り除く新梢管理作業も繁雑です。そこで、短期間に集中するこれらの管理作業の省力化技術を開発しました。

☆ 技術の概要

1. 花穂整形は、花穂整形器を利用することで、はさみを使うより作業時間を約 60%省力化することができます。
2. 1 新梢に 2 房着けるように摘房することで (写真 1)、余分なジベレリン処理と摘房作業を省くことができ、従来の 1 新梢に 1 房着ける方法より 35%省力化することができます。
3. 花穂の先端が帯化・分岐した変形花穂は、副穂を利用することで摘粒作業を約 35%省力化することができます。
4. 果実軟化期以降は、余分な枝葉を取り除く新梢管理作業を省くことで約 75%省力化することができます。
5. これらの省力技術によって、開花から収穫前までの 10a あたりの全作業時間は 157 時間となり、従来の 242 時間から 35%短縮となることから、規模の拡大も可能となります (図 1)。



写真 1. 1 新梢 2 房利用の果房

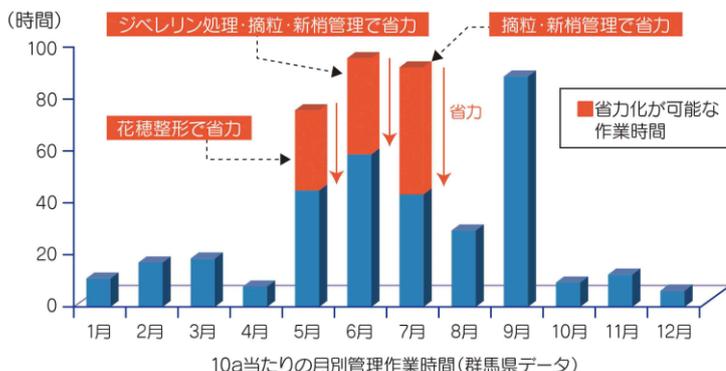


図 1. 季節ごとの省力化が可能な栽培管理作業とその時間

☆ 活用面での留意点

1. 省力化した栽培方法においても果実重量や果実品質には影響ありません。
2. 省力的な栽培方法は「シャインマスカット(短梢せん定)省力栽培マニュアル」としてホームページで公開されています。

https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/fruit/material/057966.html

3. 詳細については、群馬県農政部農業技術センター (電話: 0270-62-1021) にお問い合わせください。

(果樹研究所 企画管理部 研究調整役 井原史雄)